

第10回福岡市史講演会

入場無料

福岡城とは何か

日時 平成26年7月26日(土) 13時30分～16時30分 (開場13時)

場所 福岡市立中央市民センター 3階ホール

報告1 柴多 一雄(長崎大学教授) / 近世の福岡城 — 御殿を中心に —

報告2 日比野 利信(北九州市立自然史・歴史博物館歴史担当係長) / 近代の福岡城 — 城地の利用と記憶 —

講演 羽賀 祥二(名古屋大学大学院教授) / 近代の都市形成と城郭 **司会** 中野 等(九州大学大学院教授)

申し込み方法

【往復ハガキ】

1通で2人まで申し込み可。下記の必要事項を記入の上、ご応募ください。

- 往復ハガキに、氏名・住所・電話番号(2人申し込みの場合は、2人の氏名・代表者の住所と電話番号)
- 返信ハガキの宛先に、申し込み者(2人申し込みの場合は代表者)の郵便番号・住所・氏名

【メール】

1通で1人の申込み。タイトルに「市史講演会申し込み」と明記し、本文に氏名・住所・電話番号・メールアドレスを記入の上、shishi.EPB@city.fukuoka.lg.jp宛に送信してください。回答メール(200字以内のテキストメール、当日の入場整理券を兼ねます)を受信できる端末からご応募ください。

締め切り:平成26年7月10日(木)必着

- 7月11日以降に入場整理券をハガキまたはメールでお送りします。応募者多数の場合は抽選の上、結果をお知らせします。
- 7月24日までにハガキまたはメールが到着しない場合は、お手数ですが市史編さん室までご連絡ください。



福岡市立中央市民センター3階ホール

【地下鉄】空港線「赤坂駅」2番出口を出て、赤坂西の交差点を左折(徒歩約5分)。

福岡市中央区赤坂2丁目5番8号 TEL092-714-5521 【バス】明治通り赤坂門バス停より、赤坂西の交差点を南へ徒歩約5分。国体道路警固町バス停より北へ徒歩約3分。

申し込み
問い合わせ先

福岡市博物館市史編さん室 TEL092-845-5245 / FAX092-845-5019
〒814-0001 福岡市早良区百道浜3丁目1-1 <http://www.city.fukuoka.lg.jp/shishi/>

講演会 出演者プロフィール



柴多 一雄(しばた・かずお)

長崎大学教授／福岡市史編集委員会 近世専門部会長
1949年大阪府生まれ。
九州大学大学院博士後期課程単位取得退学。
九州大学九州文化史研究所助手などを経て、現職。
「長崎古写真紀行—幕末・明治の豊かな町と人々の表情」
(長崎文献社 2011年)
共著『福岡県史 通史編 福岡藩(一)』(福岡県 1998年)
「新修 福岡市史 特別編 福岡城—築城から現代まで—」
編集責任者。「I 総説」の執筆を担当。



日比野 利信(ひびの・としのぶ)

北九州市立自然史・歴史博物館 歴史担当係長／
福岡市史編集委員会 近現代専門部会専門委員
1969年愛知県生まれ。
九州大学大学院博士後期課程単位取得退学。
太宰府市役所市史編さん室を経て、現職。
「維新の記憶—福岡藩を中心として—」
(明治維新史学会編「明治維新と歴史意識」〈明治維新史学会 2005年〉所収)
「新修 福岡市史 特別編 福岡城—築城から現代まで—」編集責任者。
「II 福岡城の歴史」のうち「近代の福岡」「現代の福岡」などの執筆を担当。



羽賀 祥二(はが・しょうじ)

名古屋大学大学院教授
1953年岐阜県生まれ。
名古屋大学大学院博士後期課程中退。博士(歴史学)。
京都大学人文科学研究所助手、
立命館大学助教授などを経て、現職。
共著『記録と記憶の比較文化史—史誌・記念碑・郷土』
(名古屋大学出版会 2005年)
「史蹟論—19世紀日本の地域社会と歴史意識」
(名古屋大学出版会 1998年)



中野 等(なかの・ひとし)

九州大学大学院教授／福岡市史編集委員会 近世専門部会専門委員
1958年福岡県生まれ。
九州大学大学院博士後期課程中退。博士(文学)。
柳川古文書館学芸員などを経て、現職。
「柳川の歴史4 近世大名 立花家」(柳川市 2012年)
「戦争の日本史(16) 文禄・慶長の役」(吉川弘文館 2008年)
「秀吉の軍令と大陸侵攻」(吉川弘文館 2006年)
「新修 福岡市史 特別編 福岡城—築城から現代まで—」編集責任者。
「II 福岡城の歴史」のうち「福岡城の築城」「近世の福岡」の執筆を担当。

『新修 福岡市史』好評発売中!



新刊 特別編 福岡城 — 築城から現代まで —

A4判/上製本/オールカラー/340頁/2,500円(税込)

黒田長政が四〇〇年前に築いた福岡城は、福岡藩の最終的な防御施設であり、江戸時代を通じて藩主の居所、領地統治の拠点として存続した。明治維新後は、一時県庁として使用されたのち、陸軍が敗戦まで軍用地として使用していた。戦後は、平和台野球場や陸上競技場などの運動施設、国立病院や裁判所などの国の諸機関、多くの学校、住宅の用地として利用されたが、現在は史跡として整備が進められている。本書は、こうした福岡城の築城から現代までの歴史を時代を追って明らかにし、城内諸施設の変遷を詳細にたどることによって、福岡城の全貌に迫ろうとするものである。



新刊 特別編

自然と遺跡からみた福岡の歴史

A4判/上製本/オールカラー/470頁/3,000円(税込)

考古学、歴史学、自然地理学、植生史の成果を結集して、福岡の歴史を先史から現代に至るまで語るとともに、福岡の未来を探る。



考古ファン必見!!

資料編 考古3

遺物から見た福岡の歴史
(A4判/758頁/5,000円)

動植物遺存体分析などを大胆に導入した考古学と自然科学の融合。

福岡の商人が記した激動の時代の記録。

資料編 近現代1

維新見聞記

(A5判/920頁/5,000円)

幕末・明治維新期の福岡を知るための基本史料「維新雑誌」を全文活字化!!

「軍師官兵衛」も登場!!

資料編 中世1

市内所在文書

(A5判/1,350頁/5,000円)

市内にのこされた中世古文書を一挙に収録。花押集と実物大「聖福寺古図」付。

福岡・博多を学ぶための入門書。

民俗編 一

春夏秋冬・起居往来

(A5判/1,000頁/5,000円)

福岡市内の年中行事、福博の神社仏閣やモニュメントを集成。

福岡藩と黒田家のことを知るには、まずはこの本。

資料編 近世1

領主と藩政

(A5判/1,000頁/5,000円)

藩政の基礎史料に加え、領主とその家族にまつわる多様な史料を収録。

150人以上の福岡市民が登場。

特別編

福の民 — 暮らしのなかに技がある —

(A4判/330頁/1,800円)

福岡の人びとが生きる姿を写真と聞き書きで描き出す群像絵巻。

お求めは

◆福岡市博物館ミュージアムショップ
(福岡市博物館1階) 福岡市早良区百道浜3-1-1
TEL&FAX 092-823-2800

◆ジュンク堂書店 福岡店
福岡市中央区天神1-10-13
TEL 092-738-3322

◆福岡市情報プラザ(福岡市役所1階)
福岡市中央区天神1-8-1
TEL 092-733-5333

展覧会情報

2014年NHK大河ドラマ特別展「軍師官兵衛」

[会期] 平成26年7月26日(土)～9月21日(日) [会場] 福岡市博物館 特別展示室

企画展示「官兵衛の手紙」展

[会期] 平成26年6月17日(火)～8月17日(日) [会場] 福岡市博物館 企画展示室2



藩祖官兵衛
福岡は、ここから始まった



展覧会についてのお問い合わせは

福岡市博物館 TEL092-845-5011/FAX092-845-5019